

平成31年度 事業計画

社会福祉法人 秋田県民生協会

1. 経営方針

社会福祉を取り巻く環境が大変厳しくなるなか、社会福祉法人は、その経営基盤の強化を図り、使命と役割を認識するとともに、さらなる地域福祉の推進のため、多様な関係機関、組織、個人との連携・協働を主導し、既存の制度では対応できない生活課題・福祉需要に即応した公益的取り組みを推進していく。

また、地域社会に貢献する取り組みとして、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする人を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供し、地域福祉の増進に寄与するとともに、地域の期待に応える経営に努める。

利用者の方への安全で安定した食事の提供が継続していけるように、セントラルキッチン建設に向けての検討と準備を継続して行っていく。

2. 重点事項

(1) 利用者に対する基本姿勢について

- ① 北秋田市からの委託業務として、中部地域包括支援センターを配置し、地域の方々のさまざまな相談や悩みごとに寄り添い、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるようサポートに努める。
- ② 利用者の自己決定と選択を尊重し、その権利擁護を実現するとともに、個人の尊厳に配慮した良質かつ適切な福祉サービスに努める。
- ③ 社会、地域とのつながりを深めるため、地域行事に積極的に参加するとともに、地域住民との交流を促進し、利用者の幅広い生活・ケア環境の整備に努める。
- ④ 災害対策をより一層強化し、利用者が安心して安全な生活を送れるよう努める。
- ⑤ 食材課と理容課を通じて、利用者へのよりよい食材の提供と、低額な料金での理容サービスを行う。

(2) 地域社会に対する取り組みについて

- ① 地域における公益的な取り組みとして、福祉有償運送事業と夕食宅配サービス事業、子ども食堂の開催を継続していく。
- ② 地域との交流として、各施設の備品や、関係福祉団体へのマイクロバスの貸出し等を行う。
- ③ 公益事業として地域住民に対し、温泉利用や憩いの場として「さざなみ温泉」を提供し、地域の期待に応えるとともに、低額でのマッサージ事業を行い、障害者への雇用の場として提供していく。
- ④ 地域交流及びボランティア活動として、交通公共施設の清掃美化活動と、老人世帯への除排雪活動を行っていく。
- ⑤ 指定居宅介護支援事業所が市街地にあることから、地域で身近に

ある問題に即応できる相談支援体制を構築する。

- ⑥ 大規模災害に備え、法人内の危険箇所の点検を行うとともに、地域の避難所としての役割に応えることが出来るよう努める。

(3) 福祉人材育成について

- ① 職員が自己の職責を自覚し、職場の秩序を保持し、互いに「高い倫理観」と「人間尊重」のもとに、職責を遂行するよう育成に努める。
- ② 職員が仕事を通じて成長と達成を実感できる職場作りを進め、よりよい職場の環境の中で、さらなるスキルアップのための専門資格取得への助成を行う等、育成に努める。

(4) マネジメントに対する基本姿勢について

- ① 関係法令はもとより、法人の経営理念や諸規程、社会的ルールやモラルを遵守しコンプライアンスの徹底を図るとともに、社会福祉法人行動指針の実践に努める。
- ② 会計監査人の設置により、法人の経営力強化、効率的な経営を図るとともに、財務情報の信頼性の向上、ガバナンス強化だけでなく、社会的信頼性の向上に努める。
- ③ 公益性の高い事業活動の推進及び信頼性の高い効果的・効率的経営の観点から、中・長期計画に沿って安定的な財務基盤の確立と施設整備を行う。
- ④ 広報・ホームページ等で積極的な情報開示、情報提供に努め説明責任を果たしていく。

3. 主たる施設、設備整備

- ① 永楽苑エレベーター取替工事